

## 2018年度 かもめ三ツ井保育園事業報告

かもめ保育園の分園として1年、かもめ三ツ井保育園で開園して6年が経過した。保育園が開設された三ツ井地区町内の盆踊りには、保護者・職員が実行委員として参加。当日は多くの保護者が家族で来場し、地区町内の方と交流し楽しいひと時を過ごした。また、園北側の三ツ井公園は毎日散歩に出かけたり、遠足や運動会で利用することから、保護者と職員で公園の掃除を行ったりして、地域の保育園として認めていただけるよう活動をしてきた。

年度末に父母に保育園利用アンケートを実施したところ、「先生たちがとてもしっかりしている。」「細やかなところまで気付いてくれてとても信頼している。」「安心して預けられた。」などの感想が寄せられ、保育内容や職員への信頼を実感できた。これからもますます保護者や地域の方とともに歩む保育園として、職員みんなで力を合わせて努力していきたい。

### 1. 保育園の運営

#### (1) 園児入所状況 (定員 30名)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
保 育 実 施 児	0 歳児	標	4	4	4	5	5	6	7	9	9	10	10	10	83	6.9
		短	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	7	0.5
1,2 歳児	標	20	20	21	22	21	23	22	22	22	21	22	21	21	257	21.4
	短	2	1	1	2	4	4	4	5	5	6	5	6	45	3.7	
児	合計		26	25	26	30	30	34	33	37	37	38	38	38	392	32.6

・今年度の平均利用率は、前年度の35.2名より2.6名減であった。これは、上半期の定員割れが影響し経営上の収支も低調であった。

#### (2) 健康管理

##### ①内科健診

- ・毎月1回実施した。
- ・インフルエンザ等流行性の病気の広がりはなかった。

##### ②歯科検診

- ・年2回実施したが、虫歯がある園児は少なかった。

#### (3) 安全対策

##### ①防災防犯避難訓練

- ・防犯・防災・避難訓練年間計画において、訓練内容を明確にするなどの見直しをした。
- ・不審者訓練は、6月に行った。
- ・毎月の避難訓練とともに、5/18(金)丹陽小学校での広域避難訓練には全園児が参加した。

##### ②安全管理・衛生管理

- ・保健所による給食室衛生監査での指摘事項については、なかった。
- ・夏の水遊びの水質管理については、水質状況を記録するなど衛生的な管理に努めた。
- ・プール実施日は、監視を付ける体制をとった。職員の出張等のためどうしても体制がとれない場合は水遊びのみの実施とした。

- ・業者による砂場管理は、年4回実施した。
- ・負傷による通院はなかった。
- ・ヒヤリハットの事例は2件あり、おやつの出し間違いをやりそうになった。対策は、個別食事につけている名札を再度作り直して、子どもの顔写真付き札にし、案内等の表も写真付きにして予防に努めた。
- ・展示食を見ていた園児が、カバーケースを落下させ壊してしまい、新しいものを設置した。

## 2、保育目標

### (1)今年度の方針に対する取り組み

#### ①子ども一人ひとりをたいせつにする保育を追求する。

子ども一人ひとりを大切にする保育を追求し、日課の設定(各クラスごと)、日常生活の一つ一つをわかりやすく丁寧に伝える保育を行った。

#### ②保育の一環としての安心安全な自園給食を実施する。

素材に触れる取り組みやお手伝いは、4月のタケノコの皮むきに始まり3月の蓮根とごぼうに触れる取り組み等毎月実施した。また1歳児(いちご)2歳児(みかん)のクッキングも実施した。

#### ③子どもの主体性を大切に環境設定を探る。

手作りおもちゃを工夫して作るなど発達に合った物を用意し、自主的に遊ぶことができる環境づくりを行った。「面白かった。楽しかった。」と満足して過ごせるようにした。

#### ④自己肯定感を育む保育を行う。

『愛着形成のための担当保育』について研究実践をしてきた。食事では、早いグループと遅いグループ等の時差を設けた。また配膳では、一人ひとりの子どもに食べる量を聞きながら盛り付け食べさせる丁寧な保育を実施した。

#### ⑤人との関わりつながり大切に環境設定を探る。

愛着形成を育む保育研究をしているつみき保育園に、保育士(6名)が2回にわたり保育園見学に出向いた。またこの保育の研究者に保育をみてもらい、保育士の対応の仕方、子どもの受け止めている表情や姿から発達を学び(ビデオ研さん)、保育の導線(物の配置)、働きかけ方のポイント等の研修を受け、今までの保育の方法の見直し学習を3回実施。子どもにとって人との関わり影響がある保育者の関係の持ち方の学習をし、日々実践した。

### (2)保育内容

	目標	1年間の子どもの姿
0歳児 ぶどう組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの要求に合った日課を組み立てる。</li> <li>・じっくり丁寧な言葉かけをする。</li> </ul>	<p>人見知りの強い子がいて、丁寧な対応をクラスで共有し『自己肯定感を育てる保育』を実施した。膝に座らせて担当が1対1でじっくり関わることで、愛着関係の育み、心が安定しより良い関係性を築くことを実施。遊びのコーナーでは、子どもが取りやすい棚に手作りのおもちゃを置き、手に取って触ったり音をたてたり、転がしたり、ままごとコーナーを設置し、自主的に遊べる環境づくりをした。個々に気に入ったおもちゃで良くあそび、発達に合わせた対応ができた。食後寝かせる布団の位置にまだ遊んでいる子どもが立ち入ってくることもあり、寝かせる場と遊ぶ子の場の工夫が課題である。</p>

1 歳児 いちご組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の想いを表現できるようにする。</li> <li>・じっくり遊びこめるようにする。</li> </ul>	<p>子どもたちが外に出るときの身支度をするために自分の帽子、靴下、上着、オムツ(パンツ)をワンセットで入れやすくした手作りの牛乳パックの入れボックスで身支度を促した。このボックスがあれば準備ができ、次への行動に見通しがもちやすい。前半期はコーナー遊びが気に入ってよく遊ぶが人気あるコーナーの同じところに集中してしまい取り合いのトラブルもあり、配置の見直しをした。また朝は天気と体調が良ければ早めに外に出ようと朝おやつは牛乳のみにし、日課の見直し等の改善をした。後半は、言葉での関わりが活発になってきて一人遊びから徐々に2～3人の友だちと共感してよく遊ぶ姿が見られるようになった。</p>
2 歳児 みかん組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の想いを相手に言葉で伝えるようにする。</li> <li>・友達と一緒に楽しく遊ぶようにする。</li> </ul>	<p>食事にあまり意欲のない子が多く、(2歳で入園してきた子)給食担当者と相談をして食材に触れる取り組みやクッキング保育などを増やし工夫をした。遊びでは絵本「あかたろう」シリーズがとても気に入り、運動会や日常の保育の散歩に絵本の場面を導入してイメージつもり遊びを活発に展開し友だち同士の遊びが活発になった。後半は、歩く力もついてきて少し遠い公園(伝法寺公園)まで、お別れ遠足として行くことができた。卒園式の2部では、取り組み発表の時間があり子どもたちの成長をすごく感じることができる内容だった。</p>

(3)年間行事 以下の行事について、年度当初の計画どおり実施できた。

開催月	園行事
4月	11日誕生会、18日クラス懇談会(ぶどう)
5月	16日誕生会 23日遠足(全)
6月	13日カホン(音楽)演奏会(全)、20日誕生会、クラス懇談会 1日(いちご)1日(みかん)
7月	2日プール開き(全)、6日七夕まつり(全)、19日誕生会
8月	22日誕生会、29日プール閉め(全)
9月	12日誕生会、(みかん)
10月	5日クラス懇談会(いちご)(ぶどう) 10日誕生会、20日運動会(全)、24日遠足(全) 15～17日個人懇談会(みかん)
11月	6日移動動物園(全)、12日誕生会
12月	12日誕生会、21日クリスマス会(全)
1月	16日誕生会、22日人形劇(全)
2月	1日豆まき(全)、13日誕生会、(みかん)
3月	1日ひな祭り(全)、6日誕生会、1日クラス懇談会(みかん(ぶどう))、 8日クラス懇談会(いちご) 16日卒園式(みかん) 30日入園式および保育説明会(新全)

(4)施設・設備・備品について

・今年度は、特に整備することはなかった。

### 3、保育事業

#### (1)延長保育事業

・保育標準時間認定利用者の月別利用数(延長時間 18:15 から 19:15 まで) (単位:名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月平均利用者数	2.5	2.8	3.6	3.1	2.9	5.2	5.3	4	2.8	3.5	4.1	4.2

・保育短時間認定利用者の実数(延長時間 7:15 から 8:30 まで、16:30 から 19:15 まで) (単位:名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実利用者数	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	3	5

・年間利用状況

(単位名)

短時間認定利用者	実利用者数	延べ利用数 (7:15~8:30)	延べ利用数 (16:30~)	標準認定利用者	実利用者数	延べ利用数 (18:15~19:15)
	3	11	15		24	898

#### (2)土曜特別保育(7:30 から 18:00 まで) (単位:名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実利用者数	4.7	4.7	7.7	5	4	7	5.2	3.2	6	4.5	4.2	3.2

### 4、地域とのかかわり

- ・6/3 稲荷三ツ井町内会の盆踊り実行委員会に参加。8/4(土)盆踊り当日は、職員と父母、園児が参加した。
- ・三ツ井公園の掃除を 5/21(日)、9/24(日)の2回行った。

### 5、職員

#### (1)職員構成

- ・育休中の正規保育士1名が、2019.2.17 に復帰した。
- ・正規栄養士1名が、2018.9.23 から 2019.1.7 まで産休、引き続き育休を取得。これに伴い、正規栄養士が 2018.8.1 からかもめ保育園より異動してきた。
- ・5月から採用の非常勤保育士1名が、病気により治療専念のため、12月に退職した。
- ・年度末の退職者は、正規保育士2名、常勤保育士1名、非常勤短時間保育士1名、非常勤短時間調理員1名の合計5名であった。

#### (2)職員配置

担当	園長、主任、フリー	0歳児	1歳児	2歳児	給食室	その他(短時間、夕方、土曜、休暇対応)
配置数	4名	5名	3名	2名	2名	7名

#### (3)健康

- ・健康診断は、15名が受診した。その他対象外の職員については、各自で受診した。
- ・特殊検診(ストレスチェック、職業業早期発見)は、正規職員8名が受けた。

#### (4)会議

- ・各クラスパート会は、毎月1~2回子どもの様子の確認をした。
- ・チーフ会は、毎月1回各クラスの状況報告をした。

- ・月案検討会議では、毎月1回クラスの子どもの個々の状況や保育の進め方の確認をした。
- ・職員会は、毎月1回保護者や子どもの伝達事項、行事日程、行事の具体的な対応の内容、懇談会の報告などを全体に伝え、意思統一をした。またミニ学習会や研修を行った。

## (5)研修

### ①外部研修

愛知保育団体連絡協議会保育講座に3名、春の年齢別連続講座に2名が参加した。また、あいち保育と子育てのつどい(5/27)には、16名が参加した。この他、全国民間保育園経営研究懇話会の研修や、あいち保育共同連合会主催の研修に参加した。一方、一宮の保育を考える会と職員との共催で学習会を企画し参加した。

### ②合同研修(かもめ保育園、かもめ三ツ井保育園)

研修名	実施日・場所	参加者人数	内容
保育園の歴史研修	4月11日(水) 18:30~20:00 かもめ保育園	8名	・全国保育団体合同研究の成り立ちのDVDをみながら保育の歴史を学び、合わせてかもめの歴史、保育の歴史、父母との保育の共同の歴史について学んだ。
保育指針が新しくなって何が変わったか?	5月8日(水) 19:00~20:30 一宮市民会館	14名	・年齢別の発達についての部分が曖昧になってきている。しかし道徳を教科に加えて評価がつくようになってきている。小学校に入る前までにやれるようにと10の強化項目があるが、子どもの実状にあった保育を検討していくことを考えていきたい。

### ③園内研修

- ・4月4日(水) AEDの取り扱い学習
- ・5月8日(水) 指針の学習会
- ・6月6日(水) 自己評価について
- ・7月4日(水) アレルギーの対応について(エピペン)
- ・8月8日(水) 事故対応について
- ・9月5日(水) 指針について ・ 9月15日(土)実践検討会議
- ・1月9日(水) 保健の研修、対応の方法について
- ・2月16日(土) 実践検討会議
- ・3月16日(水) 自己評価について

家庭との連携や職員同士の伝達、処理の方法などは、毎回丁寧に伝える事を確認した。

### ④研修の状況

- ・正規職員の研修出席平均件数は、8件。平均研修時間は、30時間。
- ・常勤臨時職員の研修出席平均件数は、3件。平均研修時間は11時間。
- ・非常勤(短時間)職員の研修出席件数は1件。平均研修時間は、5時間15分。

熱心な職員が多く、キャリアや質を上げてきている。職員会では、外部研修にて学んだことを報告してもらい、他の職員と共有した。

## 6、苦情・意見・問合せなど

なかった。